

そろそろ夏休みも終わりですね。夏休みにはどこかへ出かけましたか？  
今日はハラハラドキドキの冒険旅行を旅した少年の物語です。

『ジンゴ・ジャンゴの冒険旅行』

S.フライシュマン／作 渡邊 了介／訳 佐竹 美保／絵 あかね書房  
1995年 1325円 読み物

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★ 中学生★☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

子どもたちをこき使う煙突掃除夫のスカーロック将軍が探していたのは、宝の地図が彫られたクジラの歯だった！

そのクジラの歯を偶然手に入れた孤児のジンゴは、ジンゴの父親だと名乗る怪しげな男、ピーコック・ヘムロック氏と宝が埋まっているメキシコへの旅に出る。

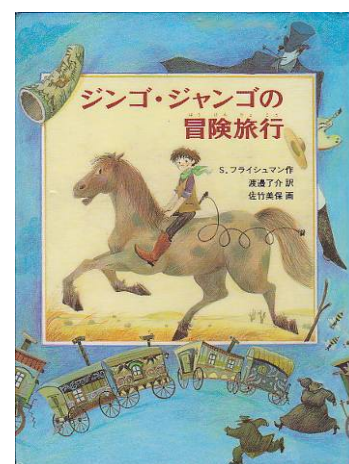
詐欺師まがいのヘムロック氏に、宝を追う強欲な孤児院長ダガットばあさんとスカーロック将軍。果たしてジンゴは宝を手に入れられるのか？そしてヘムロック氏は本当にジンゴの父親なのか？

19世紀のアメリカボストンからメキシコまでハラハラドキドキの冒険旅行！

<子どもに手渡すときのポイント>

読んでいて、ただただ楽しい物語です。見開きには宝探し経路の地図があり、めくった瞬間からワクワクしてしまいます。

ページ数が結構あり、文字もそんなに大きくないので臆してしまう子もいるかもしれませんが、佐竹さんの素敵な挿絵がけっこうあるので、本の外見で臆してしまう子には中を見せてあげてもよいかもしれません。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。